

城南第二小学校校舎改築工事 計画概要

※配置、レイアウト、規模、スケジュールは今後の詳細設計および所管行政庁の指示、調査の結果等により変更が生じる可能性があります。



■建物概要

計 画 地：品川区東品川三丁目 4 番 5 号

主要用途：小学校

構 造：鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造

階 数：地上 5 階建て

敷地面積：6,771.06 ㎡

建築面積：2,997.05 ㎡

延床面積：9,639.78 ㎡

最高高さ：21.35m

■コンセプト

1. 地域をつなぎ共に育てる

- ・狭小敷地を有効活用したL型の建物やグラウンド配置とし、貫通型の昇降口により街や公園をつなぐコンパクトで明快なゾーニングとします。
- ・昇降口から近い位置に、地域と連携した教育活動や地域交流の拠点となる多目的ホール等を配置することで、地域にとって利用しやすい学校を計画します。

2. 周辺環境に配慮した学び舎づくり

- ・近隣建物に配慮した離隔距離の確保や、柔らかな形態・勾配屋根の採用等により、周辺への圧迫感や日影の影響を抑えた計画とします。
- ・外周部に歩道状空地や緑地帯を整備し、子どもたちや歩行者の安全性を確保するとともに、潤いのある緑で周辺環境を向上させます。

3. 子どもたちの豊かな居場所づくり

- ・観客席のような「わいわいテラス」を学校のシンボルとして整備することで、縁側利用、日常の活動スペース、運動会時の観覧スペース等、様々な活動に利用できます。
- ・身体能力に差がある子どもたちのための運動スペース「キッズグラウンド」を整備し、子どもたちが楽しく安全に遊べる魅力的な遊具を配置します。
- ・環境配慮手法の見える化、中央の吹抜を活用した自然採光・自然通風を基本とした計画等、施設全体が環境教材となる計画とします。

4. 学習環境の選択肢を広げる

- ・学年のまとまりとしての教室を子どもたちが落ち着ける「いえ」、ワークスペース等の多様な学習と交流の場を散りばめた吹抜周りのオープンな空間を「にわ」、メディアセンターや特別教室を多様な情報が得られる「まち」として、施設全体が学びの場となるよう整備します。
- ・学校の中心にメディアセンターを配置することで、教室との連携や日常利用を促し、楽しく主体的に学習できる心地よい学習環境をつくれます。
- ・普通教室はオープンスペースとの一体利用等、「柔軟で創造的な学習」が可能なレイアウトとします。

5. 安全・安心をかたちにする

- ・ハザードマップを踏まえ、水害時でも水没しない2階レベル以上に避難場所となる体育館と教室を配置し、「わいわいテラス」により災害時の避難ルートや滞留スペース、避難が長期化した際の独立動線として、それらをつなぐ計画とします。
- ・正門やグラウンドに面した管理諸室により、子どもたちが安心して学習できる環境をつくれます。

■建物概要比較表

	既存校舎	新校舎
延床面積	約 5,300 ㎡	9,639.78 ㎡
建物高さ	約 14.5m	21.35m
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造
階数	校舎：3 階建、体育館：3 階建	校舎棟：5 階建、体育館棟：4 階建
普通教室	18 室 (+多目的教室 2 室)	18 室 (+多目的教室 6 室)
特別支援室	特別支援教室 1 室	特別支援教室 1 室
多目的ホール	なし	1 室
体育館	約 470 ㎡	約 710 ㎡
グラウンド	約 2,200 ㎡	約 2,500 ㎡

■新旧建物配置比較



